

KOTOKU GROUPの研究開発方針

テーマ1

マテリアルリサイクル



他の廃棄物と混合されないバッチ処理設備を主体として運用することで、廃棄物それぞれの特性や性状を鑑みた処理方法を適用し、廃棄物に含有された有価元素を回収しています。近年では電子基板洗浄廃液からのCu成分回収実績や、無電解Ni鍍金廃液からのNi、P成分回収を目指しています。

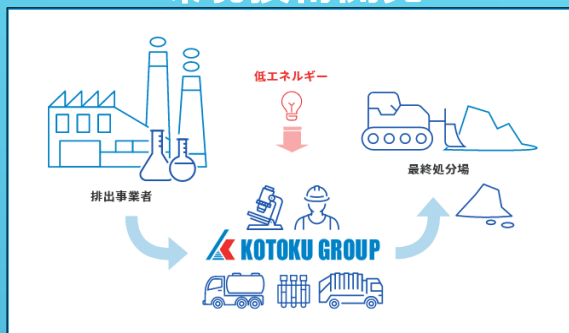
近年注力するテーマとして、メーカーから排出されるフッ素系廃棄物を原料として蛍石（主成分CaF₂）を再生しています。この再生CaF₂をフッ酸製造の原料などとして有効利用して頂くことによって、地政学的リスクの高いフッ素の循環体制構築を目指しています。

実績

- ◇平成23年産業廃棄物処理振興財団補助金
- ◇平成24年度補正、平成26年度補正、平成27年度補正、平成28年度補正ものづくり補助金
- ◇令和3年度補正予算農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうちフードテックを活用した新しいビジネスモデル実証事業に対する支援事業
- ◇特許5896118、特許6467651、特許7085711、特許7240577、特開2021-011418

テーマ2

環境技術開発



通常の産業廃棄物処理では多量のエネルギー投入を要する廃棄物やリスクの高い廃棄物などのいわゆる処理困難廃棄物に対して、水処理を中心とした技術を活用した廃棄物処理技術を開発し、処理コスト低減のみならず安全で環境負荷の低い廃棄物処理をお客様にご提案します。

近年、廃棄物分野においてもカーボンニュートラルへの意識や関心が高まっており、KOTOKU GROUPでは廃棄物資源を活用した二酸化炭素固定化技術の検討を進めております。

地球温暖化のみならず、食糧危機やエネルギー問題など世界的な課題にも環境分野からチャレンジしてまいります。

企画、営業、総務、経理



(株)興徳ホールディングス(株)

中間処理(汚泥)、委託管理



(株)興徳クリーナー尾生工場

中間処理(廃液)



(株)興徳クリーナー岸之浦工場

収集運搬・おかげづけ



(株)ケーシーエス

研究開発



(株)興徳クリーナー

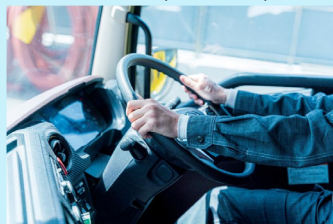


システム開発・販売



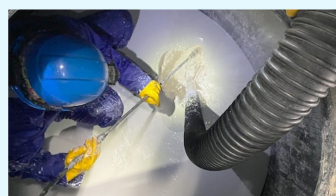
(株)イー・ガジェット

人材派遣(ドライバー)



(株)ケーシーエス・エス

特殊清掃・解体



(株)ユウシン

環境産業を創造し、“循環型社会”の形成に貢献しています。

